



平成28年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月10日

上場会社名 G-FACTORY株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3474 URL http://g-fac.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 片平 雅之  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 田口 由香子 (TEL) 03 (5325) 6868  
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

1. 平成28年12月期第3四半期の連結業績(平成28年1月1日～平成28年9月30日) (百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第3四半期	1,946	—	376	—	350	—	224	—
27年12月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 28年12月期第3四半期 215百万円 (—%) 27年12月期第3四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第3四半期	200.56	190.44
27年12月期第3四半期	—	—

(注) 平成27年12月期第3四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、平成27年12月期第3四半期の数値及び平成28年12月第3四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年12月期第3四半期	2,797	1,319	47.2
27年12月期	2,136	657	30.8

(参考) 自己資本 28年12月期第3四半期 1,319百万円 27年12月期 657百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年12月期	—	0.00	—	—	—
28年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年12月期の連結業績予想(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,667	27.1	413	50.0	407	48.2	263	47.3	226.61

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 平成28年12月期の連結業績予想の1株当たり当期純利益は、公募による新株式発行株式数(150,000株)及びオーバーアロットメントによる売出しに関連する第三者割当増資による新株式発行株式数(32,800株)を含めた期中平均発行済株式数により算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年12月期3Q	1,270,000株	27年12月期	1,120,000株
② 期末自己株式数	—	27年12月期	—
③ 期中平均株式数(四半期累計)	1,121,095株	27年12月期3Q	1,120,000株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりますが、この四半期決算短信においては、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外となっております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

なお、当社は、前第3四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期連結累計期間との比較分析は行っていません。

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済施策や日銀による金融緩和策の効果により企業業績の改善、設備投資の持ち直しの動きが見られ、国内景気は緩やかに回復基調が続いている一方で、海外景気においては下振れなど、依然として不透明な状況となっております。

当社グループの主力取引先である外食産業は、訪日外国人によるいわゆるインバウンド需要の盛り上がりが続いたこと、世帯1人当たり外食支出額の増加等、市場規模が拡大に転じており、売上高は好調を維持しているものの、人材獲得競争の激化、人材採用の難化による人件費の上昇が続いており、美容業界におきましては、デフレに伴う消費者の節約志向や、店舗間競争の激化、また、労働需給逼迫による美容師の確保難など、経営環境は依然として厳しい状況が続いております。

そのような状況下、当社グループにおきましては、今後の継続的な成長を実現するために好調に推移している経営サポート事業の強化や収益構造の転換、飲食事業における外国人観光客向けのサービス拡充及びお客様満足度の向上に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,946,686千円、営業利益は376,137千円、経常利益は350,397千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は224,850千円となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ① 経営サポート事業

当第3四半期連結累計期間においては、フロー型収益体質からストック型収益体質に転換することで継続的な成長を図るべく、当社グループが賃貸主となるリースの提案促進など、継続収益の獲得によるストック型の収益構造への転換や、顧客が来店費用を抑制できる居抜き店舗を中心とした店舗物件情報提供の強化による取り組みを継続的に実施してまいりました。

その結果、当セグメントの売上高は1,237,155千円、営業利益は391,086千円となりました。

#### ② 飲食事業

当第3四半期連結累計期間においては、土用の丑の日を中心とした販促活動、お弁当需要の囲い込みを実施いたしました。また、継続的なインバウンド需要の取り込みによる売上増加を図るため、引き続き観光エリアに店舗を構える上野店や浅草店を中心に、店内装飾品等の変更や新メニュー開発に取り組んでまいりました。

その結果、当セグメントの売上高は709,530千円、営業利益は128,562千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の部

当第3四半期連結会計期間の資産合計は前連結会計年度末より662,789千円増加して2,799,088千円となりました。これは主に、第2四半期連結会計期間まで提供していた保証金代預託サービスの契約終了に伴い、差入保証金が216,456千円減少した一方で、新規上場による公募増資等により現金及び預金が782,685千円増加したこと、売掛金が95,221千円増加したことによるものであります。

② 負債の部

当第3四半期連結会計期間の負債合計は前連結会計年度末より650千円減少して1,479,392千円となりました。これは主に、長期預り保証金が31,190千円、買掛金が19,733千円増加した一方で、長期借入金が50,999千円減少したことによるものであります。

③ 純資産の部

当第3四半期連結会計期間の純資産は前連結会計年度末より662,138千円増加して、1,319,695千円となりました。これは主に新規上場による公募増資により資本金及び資本剰余金がそれぞれ223,560千円増加したこと、また、親会社株主に帰属する四半期純利益224,850千円の計上により利益剰余金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年9月30日の「東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### 会計方針の変更

##### (企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。

##### (平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第2四半期連結会計期間から適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	455,433	1,238,118
売掛金	66,128	161,349
割賦売掛金	240,239	224,232
リース投資資産	380,651	330,624
商品	11,408	9,198
その他	100,123	101,273
貸倒引当金	△2,589	△2,140
流動資産合計	1,251,395	2,062,656
固定資産		
有形固定資産	84,956	142,694
無形固定資産	2,319	1,948
投資その他の資産		
差入保証金	729,044	512,587
その他	68,582	79,201
投資その他の資産合計	797,627	591,788
固定資産合計	884,902	736,431
資産合計	2,136,298	2,799,088

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	148,447	168,181
1年内返済予定の長期借入金	160,423	163,595
未払法人税等	71,213	73,029
賞与引当金	—	4,275
その他	233,148	225,801
流動負債合計	613,234	634,882
固定負債		
長期借入金	428,713	377,713
長期預り保証金	402,642	433,833
その他	34,151	32,963
固定負債合計	865,507	844,509
負債合計	1,478,741	1,479,392
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100,000	323,560
資本剰余金	45,000	268,560
利益剰余金	515,843	740,694
株主資本合計	660,843	1,332,814
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	40
為替換算調整勘定	△3,286	△13,158
その他の包括利益累計額合計	△3,286	△13,118
純資産合計	657,556	1,319,695
負債純資産合計	2,136,298	2,799,088



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年9月30日)
売上高	1,946,686
売上原価	1,049,468
売上総利益	897,217
販売費及び一般管理費	521,079
営業利益	376,137
営業外収益	
受取利息	71
協賛金収入	772
受取保険金	296
受取手数料	631
その他	497
営業外収益合計	2,269
営業外費用	
支払利息	3,335
為替差損	9,550
株式交付費	5,884
株式公開費用	9,220
その他	18
営業外費用合計	28,009
経常利益	350,397
特別利益	
固定資産売却益	2,329
受取和解金	5,550
特別利益合計	7,879
特別損失	
減損損失	1,295
和解金	4,000
特別損失合計	5,295
税金等調整前四半期純利益	352,981
法人税、住民税及び事業税	123,722
法人税等調整額	4,408
法人税等合計	128,131
四半期純利益	224,850
親会社株主に帰属する四半期純利益	224,850

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)	
当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年9月30日)	
四半期純利益	224,850
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	40
為替換算調整勘定	△9,871
その他の包括利益合計	△9,831
四半期包括利益	215,018
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	215,018

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年9月30日)

1 配当金支払額

該当事項はありません。

2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の  
末日後となるもの

該当事項はありません。

3 株主資本の著しい変動

当社は、平成28年8月26日及び平成28年9月12日開催の取締役会決議に基づき、当第3四半期連結累計期間において有償一般募集による新株式の発行を行い、資本金及び資本剰余金がそれぞれ233,560千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が323,560千円、資本剰余金が268,560千円となっております。